

令和8年 第3回 定例会

令和8年第2回定例会以降における町政の主なものについてご報告申し上げます。

最初に、お手元に第2回定例会以降における工事発注一覧表を配付しておりますのでご照覧ください。

次に、要望活動についてご報告申し上げます。

7月2日と3日に、北海道開発局、北海道などに対し、また、7月22日と23日には、国土交通省北海道局、道路局、財務省等のほか、道内選出国會議員に対し、室蘭地方総合開発期成会として、令和9年度の国費等の確保に向け要望を行いました。

本町としましては、国道453号の整備促進、道道洞爺湖登別線サンパレス工区や道道滝之町伊達線、道道洞爺公園洞爺線等の整備促進等について要望を行いました。

7月28日、洞爺湖町で開催された、自由民主党北海道第9選挙区支部が主催する「移動政調会」に出席し、本町から、道路整備等に加え、「地すべり対策の推進」、「地方財政措置の拡充」、「鳥獣害被害対策」について要望を行いました。

なお、当日は、森議長のご同行をいただいております。

7月29日、30日、東京都で開催された、令和9年度北海道開発予算に関する中央要請に出席し、高規格道路等道路整備の促進や、道路予算の確保等について、財務省や、道内選出国會議員に対し、要望を行いました。

8月3日、壮瞥町単独で、道道洞爺湖登別線サンパレス工区の早期完成、道道滝之町伊達線、道道洞爺公園洞爺線の整備促進に加え、地すべり対策等について、北海道建設部 関俊一 部長はじめ幹部に対し、要望を行いました。

なお、当日は、戸田北海道議會議員のご同行をいただいております。

行政報告

はじめに、長流川（壮瞥町）水害タイムラインについてご報告申し上げます。

タイムラインは、災害発生の想定に基づき「いつ、誰が、何をするか」を時系列でまとめた「事前防災行動計画」であります。昨年11月の発足式、本年の2月の検討会に引き続き、8月19日、20日の2日間、第2回検討会を実施いたしました。

1日目は関係自治会長を交えた、蟠溪地区のコミュニティタイムラインの検討会、2日目は、有識者、関係機関、町職員により、災害の各段階における骨子の検討、確認を行いました。

今後は、これからの出水期において暫定・試行運用を行い、検証・検討を経て、年度内の完成を目指し、進めてまいります。

次に、「火山防災の日」啓発事業についてご報告申し上げます。

8月26日の火山防災の日を前に、8月19日、フォーラムを開催したもので、公益社団法人全国防災協会理事 中込淳氏 から「平成26年御嶽山噴火における政府の対応」を、東京通信大学 特任教授 松尾一郎氏から「タイムラインで有珠山火山噴火に立ち向かう」と題して、それぞれご講演いただきました。

フォーラムは、町内外から、住民の皆さまをはじめ、近隣首長、関係機関など、約100人の参加を得て開催されましたが、町ではこれからも火山を知る取組や災害対応に関する普及啓発活動に取り組む所存であります。

次に、りんごまつりについてご報告申し上げます。

町の知名度向上や新たな来訪者の獲得を図るため、今年もアニメ・ゲームキャラクターを壮瞥町りんご大使に迎え、果樹園などをめぐる、スタンプラリー形式による「そうべつりんごめぐり」を10月2日から11月8日まで開催いたします。

また、昨年初開催の「そうべつ物産市」は、10月11日に、道の駅に隣接する広場で開催いたします。

例年、りんごまつり期間中は、道外を含め、遠方からも数多くの方が来訪されておりますが、今年は節目となる50回目を迎えることもあり、実行委員会の構成団体がより一層連携を図りながら、まつりの充実に取り組まれており、より多くの方の来訪

が期待されます。

りんごまつりが発展を遂げながら、持続的に開催できるよう、引き続き支援してまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

次に、第28回中学生フィンランド国派遣（海外研修）事業について、ご報告申し上げます。

2年に一度、実施している本事業には、中学生27人、引率者6人の計33人が参加し、8月4日から11日までの8日間、うちケミヤルヴィ市で、3泊4日のホームステイなどを体験しました。

期間中、体調を崩す生徒もありましたが、全員が無事に帰町し、安堵しているところであります。

先月18日には、参加した生徒の代表から、ホストファミリーの温かい歓迎や現地の学校生活など、有意義な体験に加え、親善大使としてしっかりと交流を深めてきた様子など、実りある研修であったと報告を受けたところであります。

また、訪問中に、ケミヤルヴィ市側から、来年10月に学生を派遣したい旨の話があり、より一層交流が深まるよう受入プログラムを検討してまいる考えであります。

加えて、今回は、真鍋副議長にご同行いただいた、町民派遣団8人も同市を訪問しましたが、市議会議長や企業協会代表等との会談では、今後の新たな経済交流として、双方の地域性を反映した新ブランドを創設し、共通ロゴによる商品の相互販売を展開していく方針をまとめ、検討を進める旨の報告を受けたところであります。

発展的な一歩へと繋げていただきました派遣団の皆さまに敬意を表すとともに、町としましても、今回の派遣で築いた絆を大切に育ててまいりたいと考えております。

以上、令和8年第2回定例会以降における町政の主なものについてご報告いたします。